

■目標指標

基本目標	目標指標	現状値		最終目標値	目標値	実績値	目標値	実績値
		令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和8年度 (2026年度)	令和6年度 (2024年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和7年度 (2025年度)
「人と地域がきらめく 文化の薫るまち」	1年間に1回以上文化を鑑賞したことがある市民の割合	76.8%	49.8%	80.0%	75.0%	75.4%	78.0%	84.6%
	1年間に1回以上文化活動を行ったことがある市民の割合	27.7%	22.0%	33.0%	29.0%	20.3%	31.0%	21.5%
	鑑賞、活動があると回答した市民のうち、その場が宇部市内等である割合	—	—	85.0%	75.0%	89.3%	80.0%	86.2%

■活動指標

施策	活動指標	現状値		最終目標値	目標値	実績値	目標値	実績値
		令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和8年度 (2026年度)	令和6年度 (2024年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和7年度 (2025年度)
施策 1 文化活動の活性化	記念会館・文化会館延べ来場者数	144,808人	42,779人	167,000人	130,000人	38,283人 ※文化会館は休館中	148,000人	42,350人
	芸術祭延べ参加者数(出演者及び出品者)	2,374人	754人	3,000人	2,300人	1,601人	2,650人	1,428人
	芸術祭鑑賞者数(入場者及び観覧者)	25,961人	3,123人	30,000人	22,500人	5,366人	26,250人	5,397人
	アートコミュニケーター活動者数(累計)	—	33人	80人	60人	98人	70人	112人
	アートマネージャー活動者数(累計)	42人	52人	100人	80人	80人	90人	95人
施策 2 「UBEビエンナーレ」からひろがる "まち・ひと・アート"	「UBEビエンナーレ」に対する市民の理解度	—	73.0% (R3数値)	80.0%	77.0%	81.6%	78.0%	79.3%
	彫刻教育実施回数	—	30回 (R3数値)	40回	36回	46回	38回	45回
施策 3 文化施設の整備・充実	文化会館の耐震及び長寿命化改修	—	改修設計(一部完了) (R3現状)	改修完了	改修工事	改修工事	改修工事	改修工事
	渡辺翁記念会館の保存活用計画の策定	—	未着手 (R3現状)	策定に伴う 空調改修	計画策定・申請	計画策定・申請	計画策定・申請	受理済み
施策 4 文化財の保存・活用	文化財を活用したイベント等の参加者数	—	13,000人 (R3数値)	15,500人	14,500人	15,000人	15,000人	15,000人

施策 1 文化活動の活性化

施策 1-(1) 文化活動の推進

No	主な取組	2025年度 取組実績	2026年度 取組計画
1	宇部文化連盟との協働による宇部市芸術祭を開催することにより、市民の文化活動の発表の場を確保します。	宇部文化連盟との共同主催により、展示、舞台、文芸、総合の各部門を実施した。 ●展示部門：5行事（出品者数370人、作品数794品、入場者数1,995人） ●舞台部門：7行事（出演者数670人、入場者数2,532人） ●文芸部門：1行事（出品者数248人、作品数369品、入場者数40人） ●総合部門：1行事（出品者数50人、出演者数90人、入場者数830人）	宇部文化連盟との共同主催により、展示、舞台、文芸、総合の各部門を実施する。 ●展示部門：5行事（予定） ●舞台部門：7行事 ●文芸部門：1行事 ●総合部門：1行事
2	宇部市文化創造財団等との連携により、音楽公演をはじめとした良質な公演等の文化事業を開催します。	■財団主催公演 ●4公演（かりゆし58、山崎まさよし※中止、第九、新川寄席2回） 集客率52%（入場者数2,537人/座席数4,896席） ■財団共催公演 ●6公演（交響曲のあるまちプロジェクト、クロボズファミリーコンサート、古澤巖、岩崎宏美&国府弘子、河野克典、辻井伸行） 集客率51%（入場者数4,163人/座席8,118席）	著名なアーティストを招聘し、幅広い年代が楽しめるクラシック系、ポップス系、古典芸能等の公演を、主催又は共催で実施する。 ●財団主催公演 4公演程度 ●市内文化団体等との共催公演 3公演程度
3	文化行事への後援などを通じて団体等が実施する文化活動を支援するとともに、各助成財団等の助成金情報など提供します。	文化行事への後援などを通じて団体等が実施する文化活動を支援した。 ※助成事業の実施なし。	文化行事への後援などを通じて団体等が実施する文化活動を支援する。 ※助成事業の実施予定なし。
4	アーティストの滞在型創作活動（アーティスト・イン・レジデンス）を推進し、市民とアーティストとの交流を促進します。	実績なし。	実施予定なし。
5	在留外国人などに対し、文化事業の鑑賞や体験の機会を提供し、多文化共生の取組を推進します。	■ニューカッスル市から日本語スピーチコンテスト優秀者を招き、ときわ公園での彫刻鑑賞や茶道体験、坐禅体験を実施した。 ■姉妹都市提携45周年を記念してニューカッスル市から訪問団（市議会議員2名）を招き、ときわ公園彫刻の丘での彫刻鑑賞や、華道体験を実施した。	多文化共生の推進を目的として、引き続き、在留外国人等に対する文化事業の鑑賞や体験機会の創出に取り組んでいく。
6	関係機関と連携し、渡辺翁記念会館や都市型ホテルを会場とした大型の文化事業やコンベンションなどを誘致します。	■宇部観光コンベンション協会と連携し、コンベンション誘致活動を実施した。 ●スポーツ関連：バスケットボール、テニス等 5件 ●学会： 4件 ●コンベンション参加者数 2025年度3,086人※ ※当該実績は、（一社）宇部観光コンベンション協会に助成金申請があった案件の参加人数（見込みを含む）を合算したもの。	新規ホテル開業による宿泊施設の増加、大規模コンベンション施設の再開という状況の中、引き続きコンベンション開催助成金を活用し、宇部観光コンベンション協会と連携したMICE誘致活動に取り組んでいく。
7	市内の文化団体・活動者の協力を得ながら、子どもたちが伝統文化等を体験できる機会として「子ども文化夢教室」を各小学校で開催します。	市内小学校12校で、子ども達が伝統文化等を体験できる「子ども文化夢教室」を開催した。 ●日本舞踊：参加1校127人 ●俳句：参加2校108人 ●ダンス：参加5校350人 ●声楽・ピアノ：参加2校84人 ●ミュージカル：参加2校184人	市内小学校で、子ども達が伝統文化等を体験できる「子ども文化夢教室」を開催する。

8	小・中学生の文化体験活動の一環として、市内外の専門家から直接指導を受けるワークショップ型の教室を開催します。	■「小・中学生箏曲振興事業」 UBE箏キッズ会員7人に対し、年間23回のワークショップを開催するとともに、市内5か所で市民等に演奏を披露する機会を提供した。 ■「子ども夢チャレンジ事業」 市内の中学校4校計397人が参加し、オーケストラ演奏の鑑賞、楽器紹介、指揮者体験などを実施した。 ■「子ども伝統文化わくわく体験学校」 市内の文化団体の指導により、多様な伝統文化を子どもたちが学び、体験できる機会を提供した。 ●華道：参加15人（開催30回） ●詩吟：参加2人（開催12回） ●日本舞踊：参加4人（開催9回） ●囲碁：参加2人（開催12回） ●茶華道：参加2人（開催6回）	「小・中学生箏曲振興事業」、「子ども夢チャレンジ事業」、「子ども伝統文化わくわく体験学校」を開催する。
9	障害のあるなしに関わらず参加や鑑賞ができる文化事業を企画・開催します。	財団自主事業等において、障害者の鑑賞支援のための介助者への無料チケット配付や財団発行イベントガイド等の点訳を実施した。	財団自主事業等で、障害者の鑑賞支援のための介助者への無料チケット配付を実施する。
10	経済的に不安を抱える世帯の子どもたちなどを対象に、文化事業に触れる機会を創出する「社会包摂事業」を実施します。	「私のあしながおじさんプロジェクトin宇部」事業で、企業・団体・個人から寄付を募り、夏休み及び春休み期間中に子ども課外クラブを開催した。 ●夏休み参加者：琴部3人、ピアノ部5人、ダンス部15人 ●春休み参加者：華道部18人	「私のあしながおじさんプロジェクトin宇部」事業で、企業、団体、個人から寄付を募り、夏休み期間中などにおいて、子ども課外クラブ等を開催する。
11	音響や映像・舞台芸術などに携わる市内事業者等と連携して、音楽公演などを積極的に開催することで、地元の文化関連産業を支援します。	財団自主事業等において、音響や舞台関係業務を市内事業者に委託し、地元関連産業を支援した。	財団自主事業等において、音響や舞台関係業務を市内事業者に委託し、地元関連産業を支援する。
12	ポストコロナ社会における「新たな日常」への対応のため、オンライン配信や文化事業における非接触化などを支援します。	支援の実績なし。	必要に応じて、対応可能な範囲で支援する。
13	本市にゆかりある映画監督やアーティストによる、映画・アニメーション・音楽などの文化を市内外にPRするとともに、次世代に引き継ぎます。	令和7年11月から令和8年3月にかけて、本市出身の庵野秀明氏が総監督を務めた作品『エヴァンゲリオン』シリーズとコラボレーションした企画「まちじゅうエヴァンゲリオン」第5弾を実施した。	引き続き、「まちじゅうエヴァンゲリオン」を展開し、本市にゆかりのアニメ等を通じた観光誘客促進や地域経済活性化を図っていく。

施策 1-(2) 文化・アート人材の育成

№	主な取組	2025年度 取組実績	2026年度 取組計画
14	人・アート・場所をつなぎ、新しい価値と創造的なコミュニティによるまちの発展に向け、アートコミュニケーター（うーぱー）の育成とアート活動を支援します。	■アートコミュニケーターのアートを介した実践活動を支援した。 支援内容 ●「描いちゃお！うべの彫刻2025」イベント実施：応募作品数49作品 ●「オープンマイク」イベント実施：参加者20人 ●「彫刻アートカード制作」：制作数1セット48種類×50セット	アートコミュニケーターによるアートを介した実践活動を支援する。
15	うーぱー（3年任期）修了生が、それぞれの地域や職場・団体などで、自主的にアートによるコミュニティ活動を行うことを支援します。	■アートコミュニケーターによるアートを介したコミュニティを育み、誰もがフラットに参加できる場づくりと新たな価値観を発信する活動を支援した。 支援内容【再掲】 ●「描いちゃお！うべの彫刻2025」イベント実施：応募作品数49作品 ●「オープンマイク」イベント実施：参加者20人 ●「彫刻アートカード制作」：制作数1セット48種類×50セット	アートコミュニケーターによるアートを介した実践活動を支援する。
16	うーぱー及び修了生の活動拠点の設置を支援します。	活動拠点の文化会館は休館中のため、財団事務所を活動拠点として提供する支援を行った。	要望等を踏まえ、対応可能な範囲で支援する。
17	茶華道・書道・短歌・俳句・俳画・絵画・演劇・日本舞踊などの伝統文化に携わる後継者の発掘・育成を支援します。	■「子ども文化夢教室」において、日本舞踊・俳句の講座を開催した。 ■「小・中学生箏曲振興事業」において、ワークショップを開催するとともに発表の場を提供した。 ■「子ども伝統文化わくわく体験学校」において、華道、茶華道、詩吟、日本舞踊、箏曲、囲碁を学び、体験する機会を提供した。 ■「子ども課外クラブ」において、琴の演奏の機会を提供した。	「子ども文化夢教室」や「小・中学生箏曲振興事業」、「子ども伝統文化わくわく体験学校」、「子ども課外クラブ」において、伝統文化に関する講座等を開催する。
18	文化活動団体や宇部市文化創造財団と連携して、アートマネージャー養成講座を開催し、文化と市民・社会をつなぐアートマネジメントを実践できる人材を育成します。	実績なし。	養成講座の実施予定なし。
19	アートマネージャーが主体となった、文化事業の開催を支援します。	実績なし。	アートマネージャーからの要望等を踏まえ、対応可能な範囲で支援する。

施策2 「UBEビエンナーレ」からひろがる“まち・ひと・アート”の推進

施策2-(1) UBEビエンナーレの推進

№	主な取組	2025年度 取組実績	2026年度 取組計画
20	「UBEビエンナーレ」をこれからも継続的に開催していくため、彫刻だけでなく多様なアートにも触れる機会の創出を図ります。	ときわ湖水ホールアートギャラリーで多様なアートの企画展を開催した。 ●4/26～6/29「馬場良治展 ～四季 飄飄～」 「四季」をテーマに描いた日本画の展覧会 ●7/18～8/24「夏の美術室2025」 身体を使った体験やものづくりの様々なワークショップ ●10/10～3/1「Why? 彫刻 vol.2」 宇部の彫刻展の変遷をたどる資料・出品作品・模型の展覧会	■多様な分野のアート作品が集まるアートフェアアジア福岡2026にブースを出展し、2027年展の野外彫刻模型を展示する。 ■ときわ湖水ホールアートギャラリー及び彫刻ビジターセンターで今年度実施する企画展は、すべて彫刻に関連した内容となります。既存の所蔵品に様々な角度からアプローチし、映像や写真等、立体造形以外のメディアを活用しながら、新たな魅力を鑑賞者に伝えられるよう工夫する。 ●4/10～6/28「セメント彫刻 After Permanence」 セメント製の彫刻を紹介する展覧会 ●7/17～8/23「夏の美術室2026」 身近な材料を使ったものづくりの様々なワークショップ ●10/9～2027/2/23「思い出と宇部の彫刻展（仮）」 彫刻にまつわる市民や作家の思い出を紹介
21	市民と協働したアートイベントの拡充を図り、市民とともに作るビエンナーレを目指します。	野外彫刻展の開催なし。野外彫刻展の名称変更に伴い、新ロゴをモチーフとしたARアプリを制作し、市民に親しんでもらう機会を創出した。	野外彫刻展の開催なし。彫刻の制作工程を「夏の美術室2026」会場やSNSを通じて紹介する。
22	「UBEビエンナーレ」の会場については、ときわ公園だけでなく、中心市街地等での開催も検討します。	実績なし。	取組予定なし。開催機運醸成のため、本庁舎や市民交流棟でのPRを予定している。
23	「UBEビエンナーレ」をより一層市民に親しみを感じてもらえるよう、入賞作家によるワークショップや作品展開催など、作家との連携を強化し、市民と作家との交流の場を創出します。	野外彫刻展出品作家を彫刻教育やワークショップの講師として招聘した。	野外彫刻展出品作家を彫刻教育やワークショップの講師として招聘する。
24	アートによるまちづくり“発祥の地”としての歴史や彫刻の魅力の発信、UBEビエンナーレゆかりの作家とその作品に関する調査・研究及びアーカイブの充実など、内外に向けた情報発信を強化してビエンナーレの価値を高めます。	野外彫刻展の名称変更に伴い、ウェブサイト及びデータベースのデザイン改修を行うとともに、関連ページの情報を更新するなどリニューアルを行った。また関連するSNSのアカウント名をすべて新たな名称に合わせたものに変更を行った。	企画展の調査内容をアーカイブに反映するなど、実施事業のアーカイブとの連動を強化する。
25	PRブースの設置や広報媒体への相互の情報掲載など、全国的に評価の高い他の芸術祭や文化施設等と連携を強化します。	連携事業の一環として、瀬戸内国際芸術祭に、第29回UBEビエンナーレ大賞受賞作家である西澤利高氏の新作が出展された。	アートフェアアジア福岡2026にブースを出展し、2027年展の出品作品をPRする。

施策2-(2) 彫刻企画展等の開催

№	主な取組	2025年度 取組実績	2026年度 取組計画
26	柳原義達・向井良吉作品をはじめとする屋内コレクションを常設展示するとともに、市所蔵作品の定期的な企画展も開催し、市民がアートに触れる機会を創出します。	ときわ湖水ホールアートギャラリーで、UBEビエンナーレの発展期から現在にかけてを関連作品や写真・資料で振り返る企画展を開催した。 ●10/10～3/1「Why? 彫刻 vol.2」	彫刻ビジターセンターで、所蔵作品1点をピックアップし、紹介する企画「コレクション探検」シリーズの開始を予定している。
27	ものづくり体験のワークショップを対面だけでなく、オンライン配信による作家との交流など、ポストコロナ社会における「新たな日常」に対応しながら開催します。	彫刻教育において作家によるオンライン授業を実施した。	彫刻教育において作家によるオンライン授業を引き続き実施する。
28	貴重な市所蔵作品等を適切に保管していくために、収蔵庫等の環境整備を行います。	文化会館の収蔵庫については、改修工事の中で整備した。	彫刻を展示するための展示台の保管場所を、青年の家から別施設へ移動することを検討している。

施策 2-(3) 彫刻とアートの教育の推進

№	主な取組	2025年度 取組実績	2026年度 取組計画
29	自分たちの身近にある彫刻をそれぞれの心で楽しみながら、まちに対する誇りや郷土愛を醸成するとともに、アートを介して、観察力、思考力、他者を理解する心を育み、主体的で豊かなコミュニケーションを生む彫刻とアート教育の充実を図ります。	彫刻の丘において、市内すべての小学校4年生を対象に野外彫刻鑑賞授業(子どもたち自身で彫刻を発見し、彫刻に触れることで生まれる感覚を言葉にして共有する鑑賞プログラム)を実施した。	引き続き、彫刻の丘において、市内すべての小学校4年生を対象に野外彫刻鑑賞授業を実施する。希望校には、これまでより滞在時間を長めに確保し、より充実したプログラムの実施を検討している。
30	小中学生を対象とした彫刻及び模型鑑賞授業や作家との交流によるワークショップ等の実施に加え、ポストコロナ社会における「新たな日常」に対応したICT教育の環境等を活用する彫刻教育を推進します。	タブレットやオンラインなどICTを活用した彫刻教育に取り組むとともに、野外彫刻展作家によるアウトリーチ型彫刻授業を実施した。	タブレットやオンラインなどICTを活用した彫刻教育に取り組むとともに、野外彫刻展作家によるアウトリーチ型彫刻授業を実施する。
31	地域や団体、大学等での講座開催など、多世代や様々な条件を持つ人たちにも対応しながら彫刻教育の普及促進を図り、生涯学習等にもつなげます。	■各種団体等からの申込に応じて、彫刻関連の出前講座を実施した。 ■大学等からの依頼に応じて、講義、実習等を実施した。 ■ときわ湖水ホールアートギャラリーでの企画展に合わせて、一般向けのギャラリートークを実施した。	■各種団体等からの申込に応じて、彫刻関連の出前講座を実施する。 ■大学等からの依頼に応じて、講義、実習等を実施する。 ■ときわ湖水ホールアートギャラリーでの企画展に合わせて、一般向けのギャラリートークを実施する。

施策 2-(4) 彫刻によるまちづくりの推進

№	主な取組	2025年度 取組実績	2026年度 取組計画
32	「緑と花と彫刻のまち」にふさわしい、環境との調和や景観にマッチした作品を選定するとともに、誰もが親しみやすく鑑賞できるような作品配置を行います。	■ときわ公園内での移設 ●「Storage of celestial mechanics」ハンス ショール ●「はじまりのはじまり」三宅 之功 ■新庁舎整備関連の設置・移設 ●「Klangfeld 7」フロリアン クラール (新庁舎広場) ●「懸ける」向井 良吉 (庁舎前広場)	■真綿川公園内での移設 ●「風景の抜け殻」重村三雄 ■超高温材料研究センター内での移設 ●「STONE-WORK-地標」湯村光 ■ときわ公園内での移設 ●「Press block」渡久地佑弥 ●「IMAGINE」藤井浩一朗
33	彫刻を活かした質の高いまちづくりを推進するため、新庁舎周辺については、宇部市のまちづくりの歴史や特徴を表現できるようなストーリー性のある彫刻の再配置を行います。	新庁舎整備関連の設置・移設(再掲)を行った。 ●「Klangfeld 7」フロリアン クラール (新庁舎広場) ●「懸ける」向井 良吉 (庁舎前広場)	真綿川公園～常盤通り周辺の野外彫刻の環境整備の検討を予定している。
34	市民が安心して安全に野外彫刻作品を鑑賞できるよう、市内に設置されている約200点の作品を定期的に巡回点検し、メンテナンス等の維持管理を行いながら、居心地の良い魅力ある都市空間の形成を図ります。	以下の野外彫刻の修復修景を行った。 「風の灯台」「樹とともに浮かたち」「いしづえ」「重力質RING'03」「Storage of celestial mechanics」「はじまりのはじまり」「里の門」「深夜バス」「内なる空」「大地の饗宴」	■野外彫刻について修復を予定している。 ●「地球の明日が見えますか？」重村三雄 ●「思考空間・9・6 9「くう・・・おのれのみしは・・・」」榮利秋 ●「環境装置-宇部の風」石黒鏑二

施策 3 文化施設の整備・充実

施策 3-(1) 渡辺翁記念会館・文化会館の整備等

Nº	主な取組	2025年度 取組実績	2026年度 取組計画
35	文化会館の耐震改修及び空調設備改修等の大規模修繕を実施します。	耐震改修・内部改修工事を実施した。	利用者の安全を最優先し緊急改修工事中。 早期開館を目指している。
36	文化会館の大規模修繕に合わせて、施設・設備の長寿命化改修を実施します。	耐震改修・内部改修工事を実施した。	利用者の安全を最優先し緊急改修工事中。 早期開館を目指している。
37	渡辺翁記念会館の耐震改修及び空調設備改修等の大規模修繕の検討を行うため、文化庁と協議しながら「保存活用計画」を策定します。	文化庁の受理済み。	—
38	駐車場不足のため、民間の駐車場の活用やJR宇都線・市営バス等公共交通機関の利便性向上のため交通事業者等と連携したイベントを開催します。	駐車場満車時に、周辺の民間駐車場の情報を提供した。	駐車場満車時に、周辺の民間駐車場の情報を提供する。

施策4 文化財の保存・活用

施策4-(1) 文化財の保存・活用の推進

№	主な取組	2025年度 取組実績	2026年度 取組計画
39	文化財愛護活動を推進するため、文化財所有者及び文化財愛護団体を支援するとともに、文化財の周辺環境整備を実施します。	■文化財管理者及び文化財愛護団体へ補助金を交付した(5団体)。 ■史跡等21カ所の環境整備を地域団体や郷土史研究団体等へ委託した。	■文化財管理者及び文化財愛護団体へ補助金交付を予定している。 ■史跡等21カ所の環境整備を地域団体や郷土史研究団体等へ委託する。
40	地域団体や郷土史研究団体等と連携し、地域の大切な文化遺産として次世代へ継承するため各地域の未指定文化財の計画的調査と、文化財の指定・登録化を推進します。	未指定文化財の調査と宇部市文化財審議会への諮問を行った。	指定・登録すべき文化財について地域団体や郷土史研究団体等からも意見聴取し、必要に応じて所有者の意向確認と調査を実施する。
41	文化財の保存活用を目的とした広報活動を推進します。	市ウェブサイト内の「文化財ライブラリ」で指定・登録文化財の詳細な情報を公開することで、文化財に関する正しい知識が周知されるよう広報した。	「文化財ライブラリ」の内容に古いものがないか確認・更新することで、文化財に関する正しい知識が周知されるよう広報する。
42	本市の歴史や文化へのより一層の興味・関心を高め、貴重な地域資源である文化財史料の活用を図るため、市民団体との共同、連携により、文化財展等を開催し、文化財への愛着心を育成します。	市民との連携による企画展やイベントを行った。その他、文化財防火デーの消防訓練を文化財所有者や地元住民の協力を受けて開催した。	市民との連携による企画展の開催を予定している。また、文化財防火デーの消防訓練を文化財所有者及び開催地域の地元住民等と協力して実施する予定である。
43	「宇部市デジタルミュージアム」を周知するとともに、活用を促進します。	■学校の授業などで「宇部市デジタルミュージアム」を紹介した。 ■年間を通して館内モニターで紹介動画を上映した。	■学校の授業などでデジタルミュージアムを紹介する。 ■年間を通して館内モニターで紹介動画を上映する。
44	宇部南蛮音頭保存会との連携を強化し、南蛮音頭の普及と継承を進めます。	■南蛮音頭保存会と連携し、第74回宇部まつりに出演。普及に努めた。 - 事務局（観光交流課）主催の練習回数：令和7年度10回	宇部南蛮音頭保存会の構成団体である地方会、百扇会を支援し、宇部音頭を披露する機会を設け、普及に努める。 現在は市が全ての事務局業務を担う行政主導型だが、将来にわたり持続可能な普及・継承を実現するため、会員の自主的な活動を促し、共創の推進に取り組んでいく。

施策4-(2) 宇部市史の編さん

№	主な取組	2025年度 取組実績	2026年度 取組計画
45	現在、発行している宇部市史について、昭和61年（1986年）以降の本市の歴史を追補し、市史の編さんを行うとともに、市史のデジタル化に取り組みます。	市史編さん委員会を開催するとともに、時代毎に設置した専門部会を随時開催。資料収集・調査進捗の報告、及び執筆に向けた具体的な事項を話し合った。	市史編さん委員会で進捗管理を行いながら、各専門部会での執筆に向け、資料収集や調査研究等を進める。
46	デジタル化した市史を「宇部市デジタルミュージアム」に掲載し、後世への記録の継承及び掲載内容の検索や閲覧を容易に行えるようにします。	市史デジタル化の素材となる文書や写真画像の収集・整理を行い、市史デジタルコンテンツ制作の準備作業を実施した。	デジタルコンテンツとして掲載予定の歴史的資料について、収集・調査・整理を引き続き行っていく。
47	宇部市100年の歴史を振り返る絵本を作成し、幅広い世代に宇部市の歴史に親しんでもらうことにより、シビックプライドを醸成する教育を推進します。	2024年度末に完成した絵本を小・中学校や読み聞かせボランティア団体等に配布。また、幅広い世代の活用を目的に市ウェブサイトへ公開。音声版・点字版も作成した。	子どもたちや幅広い世代が、市の歴史に親しみ、理解を深めるため、引き続き市ウェブサイトに公開するとともに、絵本の活用を推進する。